

健康・福祉・医療の関連
産業の立地を支援します

健康ビジネスは新潟県で！
拠点をお探しの健康ビジネス
関係企業の皆さまへ

平成20年
新潟県



健康ビジネス連峰

「健康・福祉・医療」のニーズに応じた
新潟県産業のイノベーション

目次

- 健康ビジネス連峰関係 P1～P8
 - 健康・福祉・医療の関連産業の立地を支援します P1
 - 「三つ星ビジネスモデル」 P2～P3
 - 新ビジネスモデルの具体例 P4～P5
 - 「三つ星ビジネスモデル」以外の県内企業の実績 P6
 - 全国初の健康ビジネスサミット『うおぬま会議』 P7
 - 企業立地促進法に関連する地域の実績 P8～P9

- 新潟県の立地環境 P10～P17
 - 資源 P10～P11
 - 支援体制 P12～P13
 - インフラ P14～P16
 - 雪・労働力・優遇制度 P17

- お問い合わせ先 P18

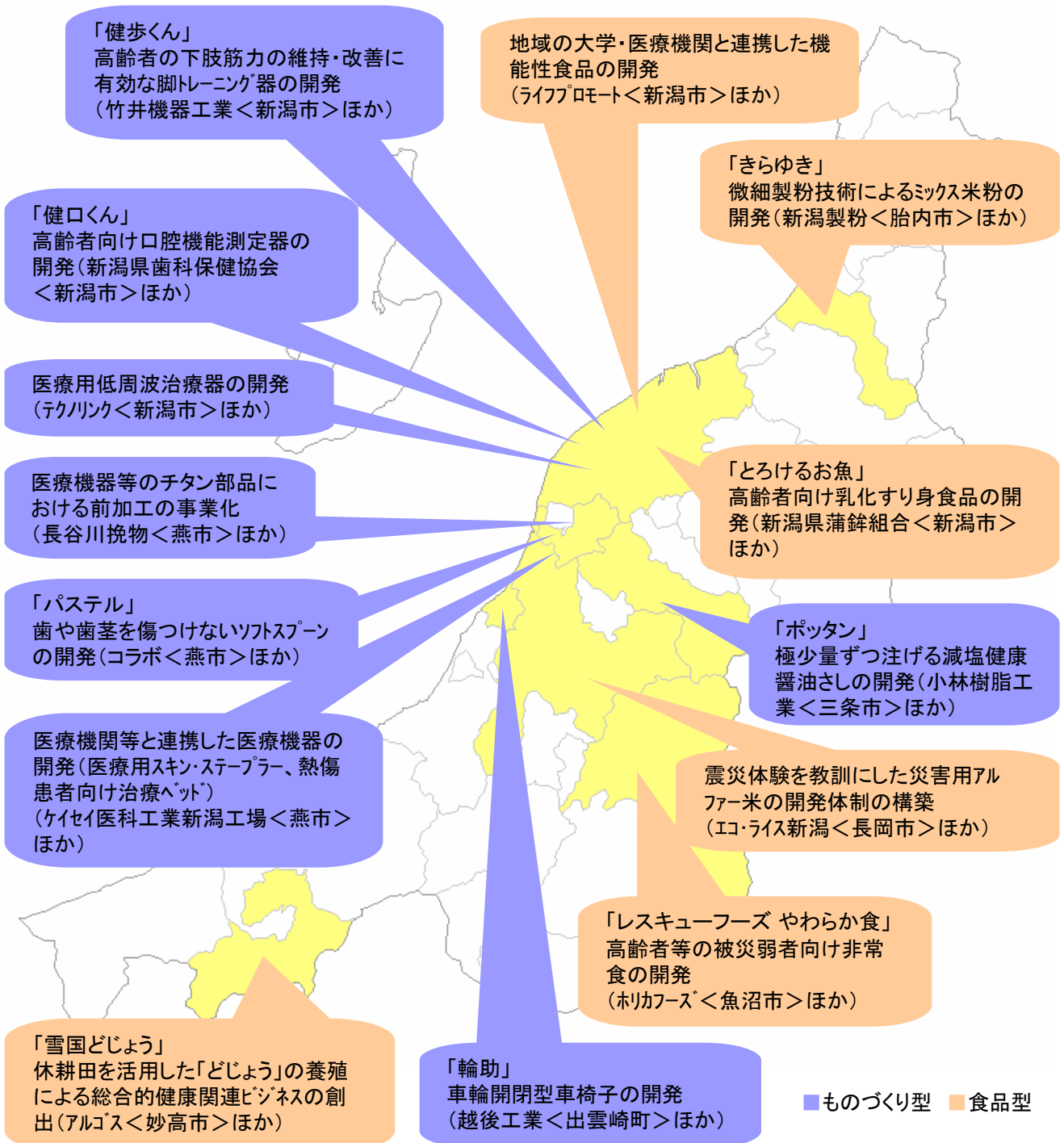
健康・福祉・医療の関連産業の立地を支援します

- 新潟県は健康関連分野のリーディング企業の皆様と県内企業との橋渡し・連携をお手伝いします
 - 健康・福祉・医療関連での付加価値の高いビジネスが輩出されるよう、関係企業等を支援します
 - 県内企業が実施する「健康産業発展の道標」となるような先導的プロジェクトを『健康ビジネス連峰』により支援しています
- 『健康ビジネス連峰』 県による全庁的なバックアップ体制
 - 県予算による支援（主な事業）
 - 健康関連ビジネスモデル推進事業（産業労働観光部）
 - 地域の企業等が実施する健康ビジネス創出の先導的プロジェクトに対して助成。サービス・機器・食等の新たな健康ビジネスを育成・創造。
 - 「うおぬま会議」開催（産業労働観光部）
 - 県内健康ビジネスのブランド化を推進するため、業界関係者や行政等が交流する全国初の健康ビジネスサミット「うおぬま会議」を開催。
 - 農と観光の連携による魅力づくり事業（産業労働観光部／農林水産部）
 - 本県が全国に誇る「自然」と「食」を組み合わせ、本県特有の魅力として発信し、誘客を促進。
 - 県公設試験研究機関における研究及び開発支援
 - 「工業技術総合研究所」「醸造試験場」「食品研究センター」「水産海洋研究所」等
 - 公的支援制度等の活用支援
 - （財）にいがた産業創造機構【NICO】の各種支援制度
 - ゆめ・わざ・ものづくり支援事業
 - 新技術開発、高付加価値型製品の開発などに取り組み中小企業を対象に、開発に必要な経費の一部を助成。
 - 国の競争的資金
 - 「地域資源活用プログラム」「新連携」「農商工連携」等
 - その他
 - 医療・介護施設等と企業の連携をコーディネート
 - 県広報番組など各種メディアへの露出等による広報支援
 - 食品開発展など各種展示会への出展支援
 - シンポジウムの開催等による情報発信 etc

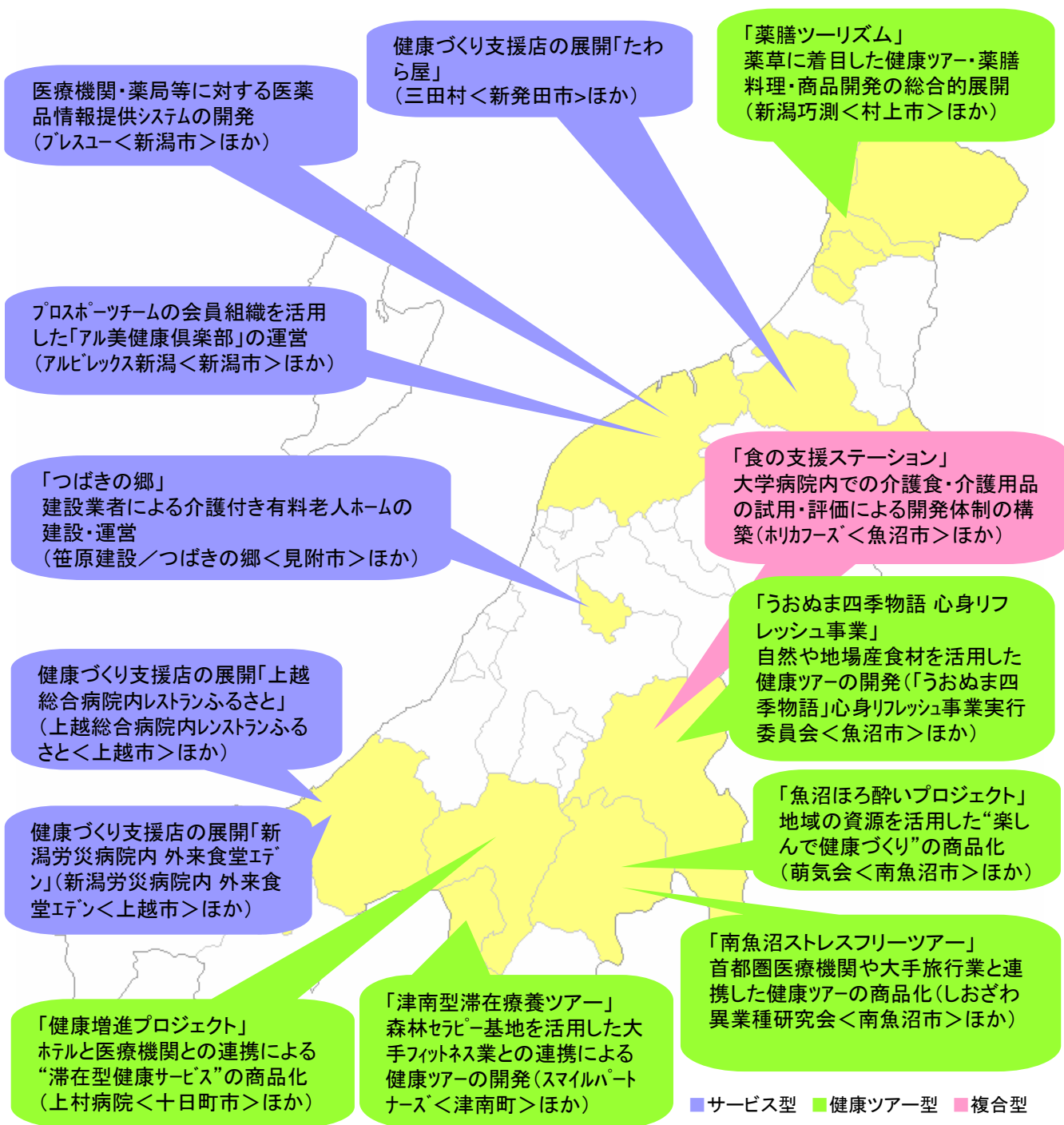


- ✓ 2年間で、推奨事例「健康ビジネス連峰 三つ星ビジネスモデル」
27件を輩出しました！
- ✓ 全国でも例のない新ビジネスモデルが誕生しました！

「三つ星ビジネスモデル」 ものづくり型・食品型



「三つ星ビジネスモデル」 サービス型・健康ツアー型・複合型

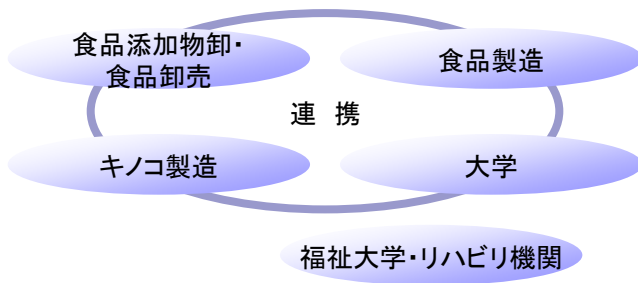


新ビジネスモデルの具体例

■ 地域の大学・医療機関と連携した機能性食品開発（新潟市）

- 県特産食品資源であるマイタケ・魚介類・穀類が持つ機能性成分を利用したサプリメントを開発・事業化。
- 3ヶ月の試用で歩行速度・歩幅・開眼片脚立位時間の改善、膝痛の軽減効果を確認。
- 風味（ヨーグルト味）・形状（顆粒）・包装（プラスチック）を工夫し、簡便性・携帯性を向上。

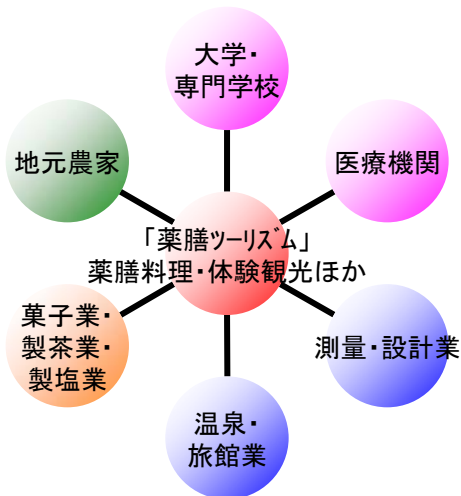
- 県の支援：健康関連ビジネスモデル推進事業による助成



■ 越後「薬膳ツーリズム」（村上市）

- 越後最古の名刹「曹洞宗 耕雲寺」周辺に自生する薬草と、城下町村上の観光資源を組み合わせた健康ツアー。
- 医師監修の健康チェックシートに基づくセミオーダーの薬草体験（中国漢方専門家監修）。
- 体験観光のみならず、塩・味噌・醤油・菓子など関連商品も多数開発。

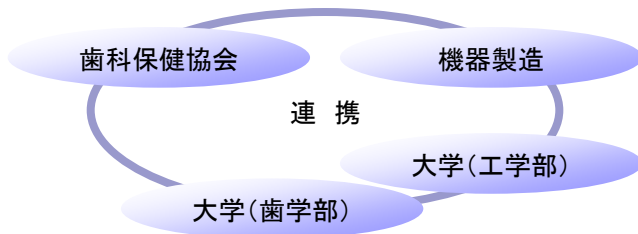
- 県の支援：健康関連ビジネスモデル推進事業による助成



新ビジネスモデルの具体例

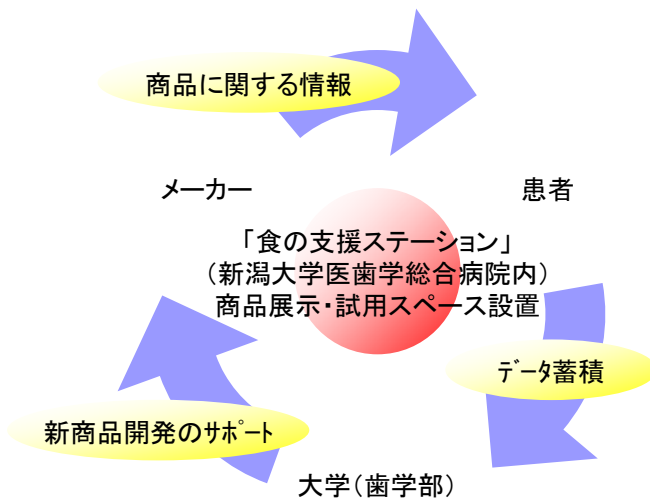
■ 「健口（けんこう）くん」（新潟市）

- 高齢者の介護予防事業のひとつである口腔機能測定の嚥下・オーラルディアドコキネシス測定器を開発。
 - これまでの測定方法に比べ、正確性の向上と測定者の負担軽減が確認された全国初の口腔機能測定器。
- 県の支援：健康関連ビジネスモデル推進事業による助成



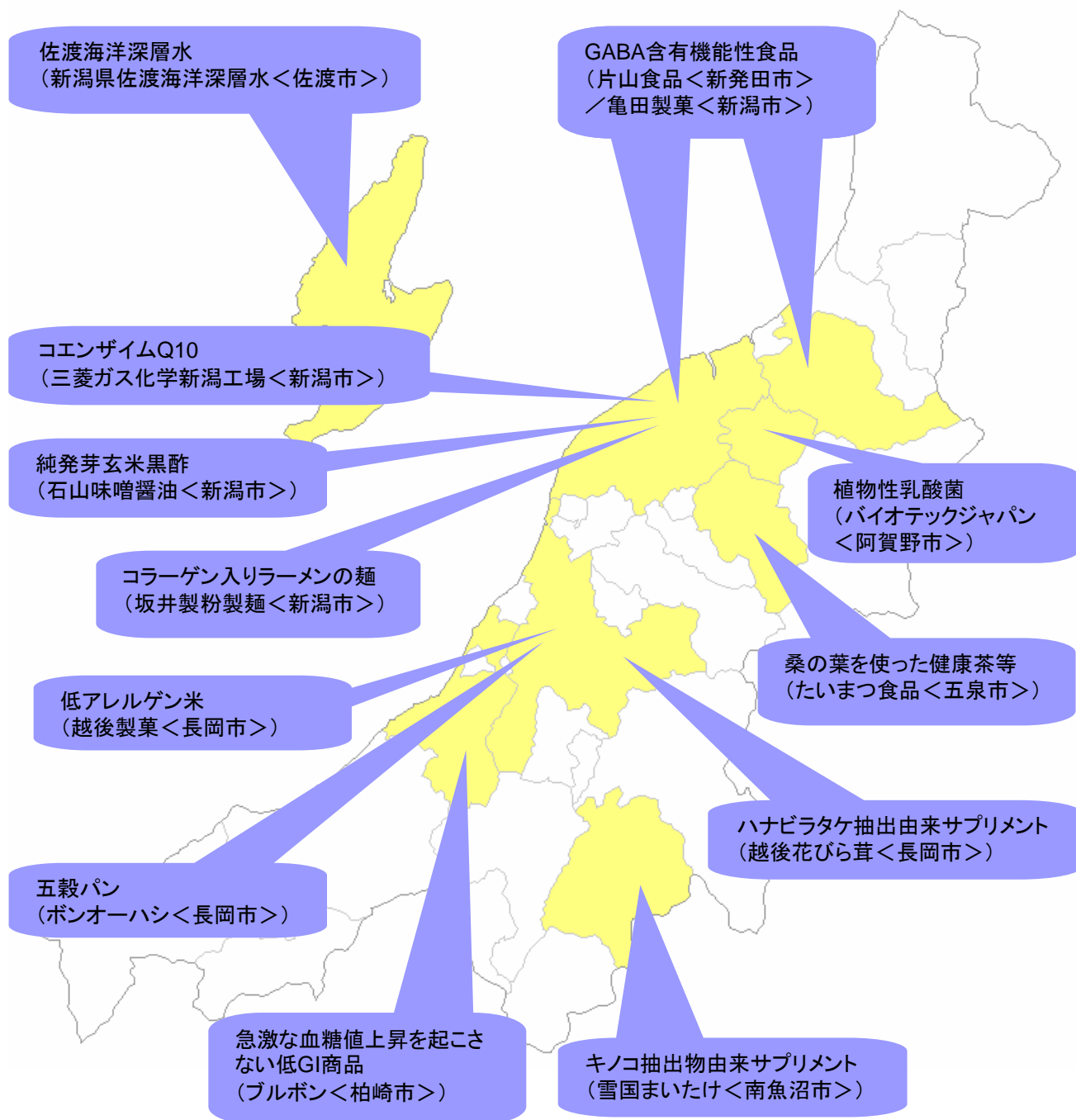
■ 「食の支援ステーション」（新潟市）

- 新潟大学医歯学総合病院内に摂食・嚥下機能障害者向けの介護食・介護用品を展示・試用するスペースを設置。
 - 歯科医師の指導に基づく商品の試用と評価・研究を実施。
 - 患者・大学・メーカーの3者WIN-WIN-WINの関係構築。
- 県の支援：健康関連ビジネスモデル推進事業による助成



「三つ星ビジネスモデル」以外の県内企業の取組

- 新潟県では「三つ星ビジネスモデル」以外にも、さまざまな企業で健康関連分野の研究開発が行われています。



全国初の健康ビジネスサミット『うおぬま会議』

- 新潟県魚沼地域にて、健康ビジネスサミット『うおぬま会議』を開催（平成20年11月13日（木）14日（金））

□ 概要

- 健康・福祉・医療関連産業の様々な分野に関わる企業、医療、大学、行政等関係者が集い、それぞれの分野での課題について議論し解決の方向性を目指す、全国初となる会議。
- 主催：健康ビジネスサミット「うおぬま会議」実行委員会
- 特別協力：CMPジャパン(株)／日経ヘルス
- 会場：新潟県魚沼市（13日）及び南魚沼市（14日）
魚沼市小出郷文化会館 魚沼市地域振興センター
魚沼市小出ボランティアセンター 北里大学保健衛生専門学院

■ 実施内容

全体会議

レセプション

個別会議

- ・エグゼクティブ会議
- ・「福祉用具市場の現状と課題等に関する調査」成果発表会
- ・スノーリゾートと外傷医療に関する会議
- ・ヘルスツーリズムネットワーク会議
- ・医療・健康産業セミナー
- ・「健康とスポーツ」事業創造会議
- ・高圧プロジェクト研究者会議
- ・ユニバーサルデザイン会議

展示会

- ・～健康ビジネス・ものづくりフェア～

関連イベント

- ・魚沼地域ビジネス交流会 ほか
- 観光（オプション） ・新潟の地域資源発掘体験 ほか

● うおぬま地域

✓ うおぬまから全国へ、そしてユーラシア大陸へ
新潟県は健康ビジネスの“トップランナー”を目指します！

企業立地促進法に関連する自治体の取組

- ✓ 本県では平成20年11月13日現在、以下の3地域が、健康関連産業の集積を目指す基本計画を策定し、国から同意を受けています。

■ 阿賀野市

集積業種「食料品製造・バイオ関連産業」

- 豊かな自然環境の中で培われた「食」関連産業が集積
- 独自の発酵技術で高付加価値化に取り組む企業も存在
- 地域の特性を活かした企業、優れた技術を持つ企業を核に関連産業の集積を図る

■ 見附市

集積業種「健康づくり関連産業」

- 市の基本施策の1つに「日本一健康なまち」を目指すことを標榜し、様々な健康づくりの施策に取り組んでいる
- 農業、食品製造業において健康食品開発に向けた研究が、繊維関連産業において医療・福祉分野向け高機能化製品の研究が盛ん
- 幅広い業種の連携により、新産業・新価値の創造取り組み、健康づくり産業の集積を目指す

■ 胎内市

集積業種「食料品関連産業」

- 地元産農産物を使用する企業の集積により、地元農業との相乗効果も期待
- 既存の食料品関連企業の生産施設拡大を後押し

■ 企業立地促進法とは？

- 正式名称は、「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」

企業立地の促進等による産業集積の形成及び活性化に関する、地域の主体的かつ計画的な取り組みを支援するための措置を講ずることにより、地域経済の自立的発展の基盤強化を図ることを目的とした法律で、平成19年6月11日に施行されました。

地域が、当該地域の特色・強みを生かした「集積業種」を定め、その集積・活性化に向けた総合的な計画（「基本計画」）を策定し、国の「同意」を受けた場合には、設備投資減税や工場立地法の特例など、さまざまな支援措置や規制緩和が受けられるようになることを内容としています。

また、「農商工連携」促進等による地域経済活性化の取組を支援するため、平成20年8月22日に改正法が施行され、農林水産業に関連性のある産業の集積を促進する支援措置が追加されました。

その他自治体の取組

- ✓ 国からの同意を受けていない地域でも、それぞれの地域の特性を活かした独自の取り組みを行っています。

■ 新潟地域

- 地域産業の牽引役のひとつとなっている食料品製造業をベースに、素材を供給する農業・漁業のほか、機械製造、印刷・包装関連、運輸、販売・小売、情報通信、サービスなど、関連業種を含めて食品産業全体の活性化を図る。
- 市内に多くの大学や公設試験研究機関等を有し、機能性食品の開発など数多くの研究が行われており、研究シーズも多数保有。
- 大学と企業との共同研究を促進し、「新潟バイオリサーチパーク構想」を産業界と推進、バイオ産業の集積に取り組む。

■ 長岡地域

- 農工および産学の連携を強化することによって新たな地域ブランドの創出の可能性。
- 低迷する農業や伝統的地域産業を、他産業・異分野と連携させることで活性化を促し、新たな産業分野・ブランド化を図る。

■ 魚沼地域

- 既存産業である食料品製造業、電子部品・デバイス製造業、機械器具製造業などをはじめ、農業、観光産業、サービス産業などの様々な異業種間連携による、高付加価値製品や新ビジネスの創出に取り組む。
- 米をはじめとする農産品、良質な水など、豊富な地域資源を活かした新製品開発やブランド化を推進。

■ 上越地域

- 地場産業としての米菓・酒類の製造や、大葉・エビ・ドジョウなどの地域資源を活用した農商工連携の取り組みが活発。
- 平成20年度、妙高市が、経済産業省による「企業誘致に頑張る市町村20選」、経済産業省及び農林水産省による「農商工連携88選」に選定された。



新潟県の資源

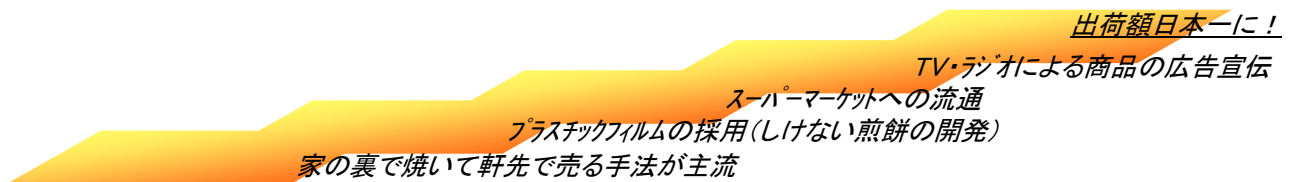
■ 変革のDNA

- ✓ 新潟県の産業には、時代のニーズに合わせて業態を変革させてきたイノベーションのDNAが存在しており、そのうちの幾つかは業界のリーダーとして産業全体を牽引する存在になっています。

■ コメ

- ✓ コメの生産額 1,831億円 (H18 全国第1位)
- ✓ 米菓の出荷額 1,411億円 (H18 全国第1位 シェア約48%)
- ✓ 切餅・包装餅の出荷額 323億円 (H18 全国第1位 シェア約62%)

- 米菓 新潟県の企業が新たなビジネスモデルを創出



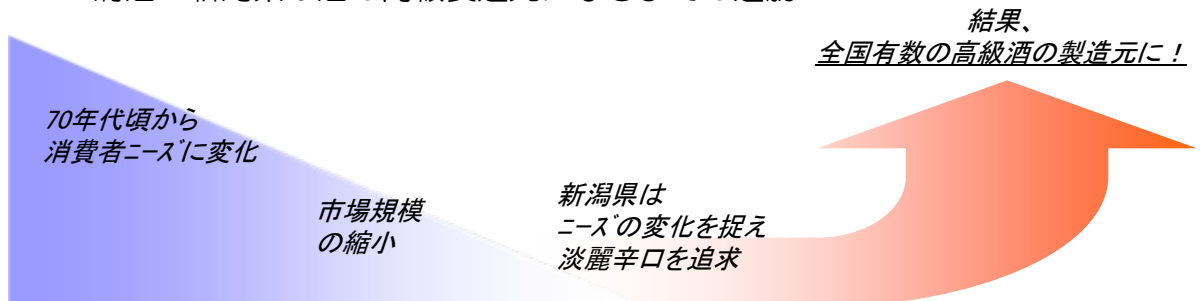
- 注目の研究

- コメと熱可塑性樹脂の複合化によるバイオマスプラスチックの製造技術 (県内VB)

■ 酒

- ✓ 清酒(濁酒を含む)の出荷額 509億円 (H18 全国第3位)
- ✓ 清酒製造免許場数 104場 (H18 全国第2位)

- 清酒 新潟県が酒の高級製造元になるまでの道筋



新潟県の資源

■ 農林水産物

- 新潟県には、自然豊かな風土に加え、生産者の創意工夫や熱意により生み出された、高品質で美味しい農林水産物がたくさんあります。
- その中でも特に高い満足感を提供できる9品目を「にいがたフード・ブランド」とし、生産から消費に至る高い品質管理とサービスの徹底について取り組んでいます。

✓ ブランド対象品目

コシヒカリ、ルレクチェ、越後姫、にいがた和牛、佐渡寒ブリ、えだまめ（茶豆）、にいがた地鶏、南蛮エビ、ヤナギガレイ



■ 水

- 信濃川、阿賀野川に代表される2大河川等により水不足とは無縁
- 山間部の降雪が伏流水となり、豊富で良質な水を供給



- ✓ 良質な工業用水の安定供給、地下水の利用により、コストの低減が可能

■ 技術

- 超高圧技術（2000気圧）を活かした食品加工（越後製菓株＜長岡市＞）
 - 超高圧処理による殺菌で添加物を不要とし、コメ本来のおいしさをさらに引き出すことに成功
- 異物検査機の開発・製造（株）システムスクエア＜長岡市＞
 - 国内トップレベルの技術を活かしたX線異物検査機・金属検出機メーカー。
- 食品廃棄物の有機肥料化
 - 生ゴミ等から製造された肥料を農業者等へ還元する地域資源循環事業の実施。

充実した支援体制(支援機関・試験研究機関)

■ 新潟バイオリサーチパーク（新潟市）

- 新潟薬科大を核としたバイオテクノロジー関連分野の拠点形成を目指す「新潟バイオリサーチパーク構想」の推進機関。バイオテクノロジーに関する産学官連携のコーディネート、技術相談、微量分析測定コンサル等を行う。

■ 新潟県醸造試験場（新潟市）

- 都道府県立では唯一の酒に関する試験場。醸造用微生物の機能を活かした健康志向製品の開発、吟醸酒の原料米「越炭麗」の特性が発揮される醸造法等の開発、海外進出に対応した醸造法の開発等を実施。

【注目の研究】

- ・酒粕を利用した新規乳酸発酵食品の製造技術
- ・海外進出に対応した醸造技術
- ・乳酸菌を利用した酒質改善技術
- ・アルコール度数の低いライト感覚の酒類の製造技術

■ 新潟県農業総合研究所食品研究センター（加茂市）

- 酒、水産物加工を除く食品の研究及び指導を行う。研究の柱は、(1)米の消費拡大研究、(2)本作・転作農産物の利用拡大研究、(3)県特産農産物の利用研究、(4)米菓・餅・漬物等々の既存食品の高品質・高付加価値研究、(5)機能性食品等の新規加工食品開発研究、ほか。ほかにも随時、講習・研修、技術相談・指導等の技術支援も実施。
- また、食品加工技術や産学官の共同研究を支援するオープンラボ機能と企業が独自に使えるクローズドラボ機能を併せもった研究交流棟のほか、各種の研究機器の貸し出しを実施。

【注目の研究】

- ・山菜を活用した機能性食品の開発
- ・果園芸作物中の未解明成分の解析と利用
- ・イネシステインプロテアーゼ阻害因子を機能成分とする食品素材の研究開発
- ・微細米粉の製造技術
- ・低タンパク質米飯の製造技術
- ・稲（コメ、稲穂等）を含有する高機能食品の製造技術
- ・グルテンを使用しない米粉パンの製造技術

■ 新潟県水産海洋研究所（新潟市）

- 本県で漁獲される魚介藻類を使用した新たな加工食品の開発や、安心・安全で高品質な水産物供給のための鮮度保持及び品質管理技術の試験研究を行う。

【注目の研究】

- ・高齢者向け乳化すり身食品「とろけるお魚」の開発

■ にいがた産業創造機構【NICO】（新潟市）

- 新分野進出など企業の経営革新を促進するとともに、次代をリードする産業を戦略的に創造するプロジェクトを産学官の力を結集して推進。産学連携を強力にコーディネート。

■ JSTサテライト新潟（長岡市）

- 科学技術振興機構（JST）の地域における活動拠点。独創的な研究成果を基に「産学官の交流」及び「産学官による研究成果の育成」を進め、新規事業の創出を目指す。

■ 新潟県工業技術総合研究所（新潟市）

- 工業技術の高度化や高付加価値型産業群の形成等、本県経済構造の高度化を目指し、企業・大学等と連携した研究開発や、技術相談、依頼試験等の企業支援を実施。

【注目の研究】

- ・3次元編み技術による骨・皮膚・口腔再生医療のための新基材開発
- ・介護予防のための筋力向上トレーニングロボットシステムの研究開発
- ・高齢化社会に適した再生医療普及のための安価な培養システムの開発
- ・エルゴメーターの負荷フィードバックシステムに関する研究

充実した支援体制(大学)

■ 新潟薬科大学 応用生命科学部 (新潟市)

- 新潟以北で初の薬科大学(薬学部)として誕生、県内外の医療分野に多くの人材を輩出している。「新潟バイオリサーチパーク構想」の中核として、当県における、生命健康科学の研究・教育の中心的役割を担っている。

【注目の研究】

- ・食餌由来コレステロールの吸収抑制効果の評価法に関する研究
- ・食品の機能性：初期ヒト評価ユニットの開発 ・薬物トランスポータ抑制機能の解明

■ 国立大学法人 新潟大学 (新潟市)

- 日本海側最大の総合大学として卓越した先端的研究を推進。地域共同研究センターを通じ、産学連携活動を推進。

【注目の研究】

- ・高分子ゲルを反応場を利用したスマート・ソフトマテリアルの開発
- ・高病原性メチシリン耐性株及び感受性黄色ブドウ球菌の血清学的迅速診断の実用化検討
- ・超高压処理を用いた食品アレルギー低減化ならびに機能性成分富化の試み
- ・超音波人体計測による生活支援機器のオーダーメイド化技術の開発
- ・脊椎不安定性診断システムの開発と臨床応用

■ 国立大学法人 長岡技術科学大学 (長岡市)

- 実践的な技術開発を主眼とした工学系大学。技術開発センターで産学一体による共同研究を積極的に推進。

【注目の研究】

- ・非侵襲血糖測定の研究 ・非侵襲がん治療・診断装置の研究
- ・脳波のフラクタル解析によるストレスの計測
- ・脳波のカオス・フラクタル性を利用した介護ロボット制御
- ・発展型ネットワークを用いた地域医療連携システムの開発

■ 新潟工科大学 (柏崎市)

- 県内産業界が中心となり創設した大学。共同研究、受託研究、技術相談等を実施。

【注目の研究】

- ・身体障害者でも操作可能な入力装置の開発 ・医療・福祉機器の開発
- ・豆科植物種子に含まれるプロテアーゼ阻害剤の生理機能の検索と活用に関する研究
- ・体内植込み型刺激装置の開発 ・ヒト唾液蛋白質の構造と生理機能に関する研究

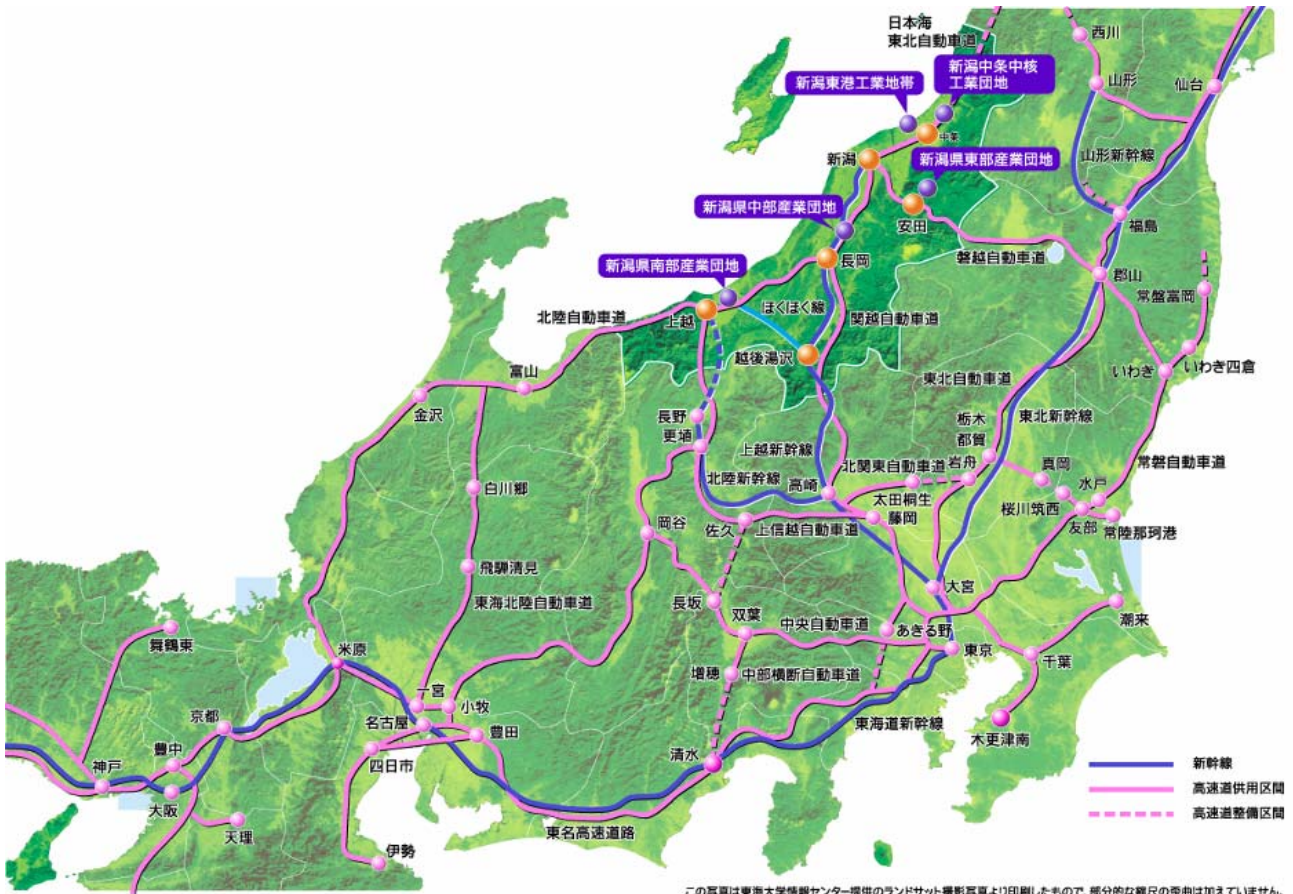
■ 事業創造大学院大学 (新潟市)

- 当県初のビジネス系専門職大学院。起業家精神に溢れ、創造的な経済・産業活動に積極的に取り組む人材を育成。経営管理修士(MBA)の学位取得と、現実の企業社会で評価される事業計画書(ビジネスプラン)の作成できる能力と技能を備えた事業創造実践家を育成。

✓ 立地企業と県内企業間の技術提携や受発注の促進、県内大学等との産学連携コーディネートに取り組み、立地後も強力にサポート致します！

インフラ(陸上交通網)

- 新潟県は、関東・関西・東北各圏の結節点！
- 充実した高速交通インフラにより、各方面からの迅速かつ合理的なアクセスが可能です。



● 高速自動車道 【新潟への概略所要時間】

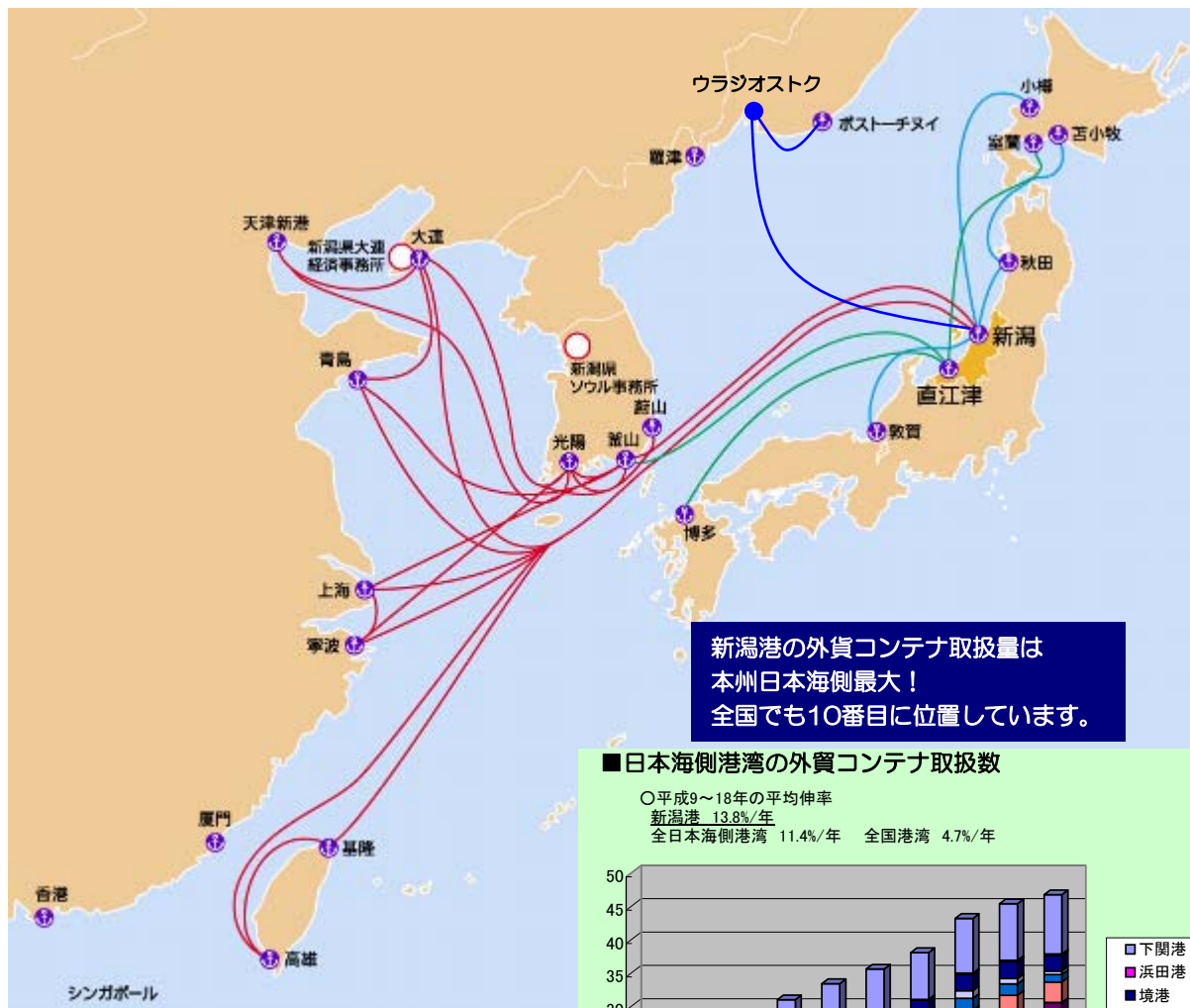
東京(練馬)から	3時間30分(300km)	関越自動車道利用
仙台から	2時間50分(250km)	東北・磐越道利用
名古屋(小牧)から	5時間40分(450km)	中央・上信越道利用
大阪(豊中)から	7時間10分(590km)	北陸自動車道利用

● 鉄道 【新潟への概略所要時間】

東京から	1時間40分	上越新幹線利用
仙台から	2時間40分	東北・上越新幹線利用
名古屋から	3時間20分	東海道・上越新幹線利用
大阪から	4時間10分	東海道・上越新幹線利用
大阪から	6時間20分	在来線北陸本線利用

インフラ(定期コンテナ貨物航路)

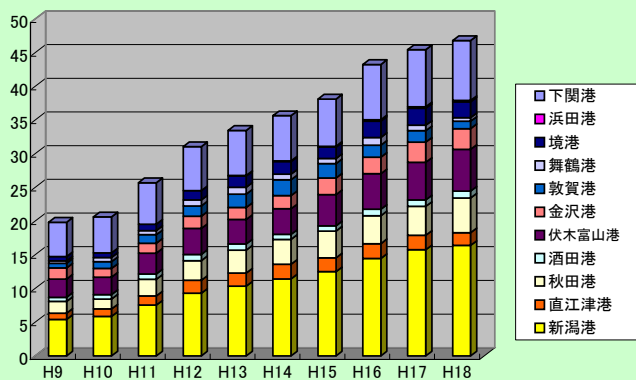
- ダイナミズム溢れるロシア・東アジア経済に対峙する絶好のロケーション！
- 日本海物流時代の到来により、新潟の可能性はさらに広がります。



新潟港の外貨コンテナ取扱量は本州日本海側最大！
全国でも10番目に位置しています。

■日本海側港湾の外貨コンテナ取扱数

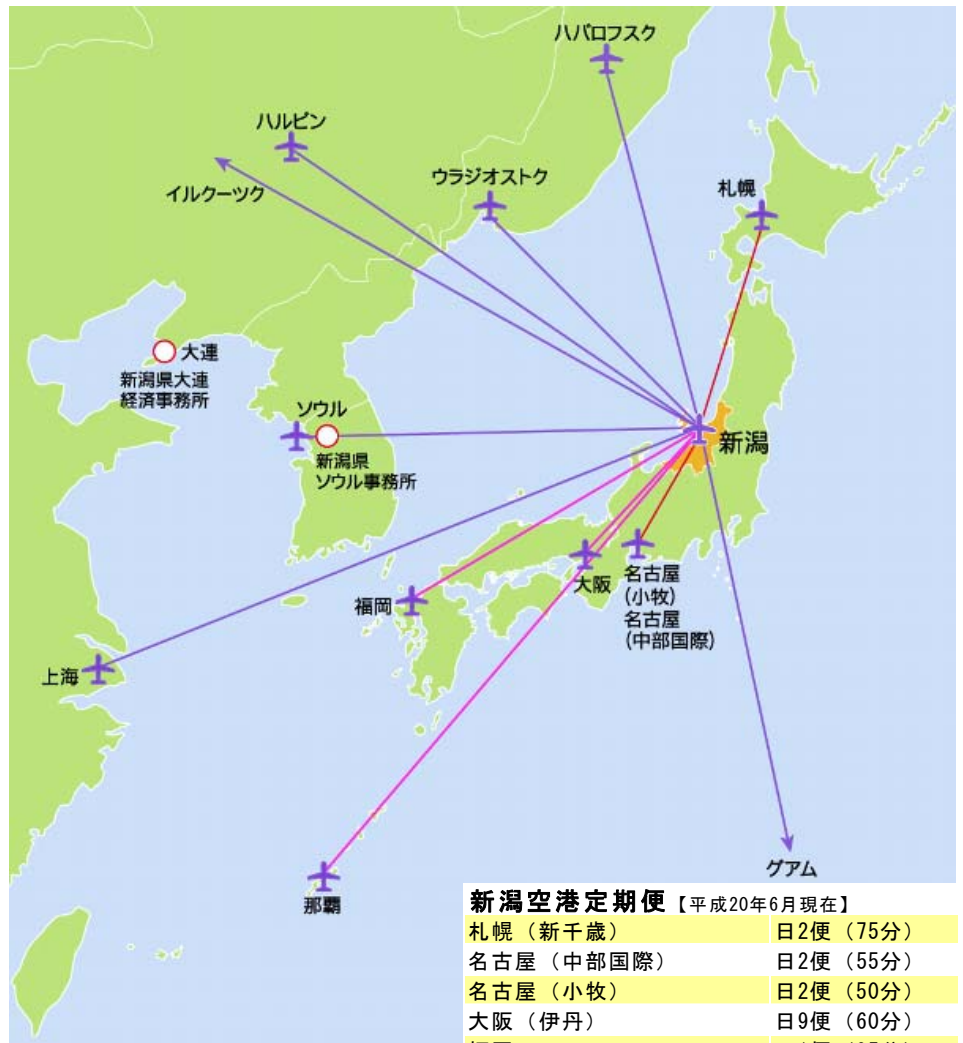
○平成9～18年の平均伸率
新潟港 13.8%/年
全日本海側港湾 11.4%/年 全国港湾 4.7%/年



※新潟港とロシア極東を結ぶ定期航路が平成20年9月に就航。
船主：商船三井
主な寄港地：ポスト・チヌイ、ウラジオストク
(当初1便/月)

インフラ(定期航空路)

- ロシア・韓国・中国など対岸諸国に充実した路線網！
- 国際線7路線および国内主要都市へ7路線が就航する国内有数の空港です。



新潟空港定期便【平成20年6月現在】

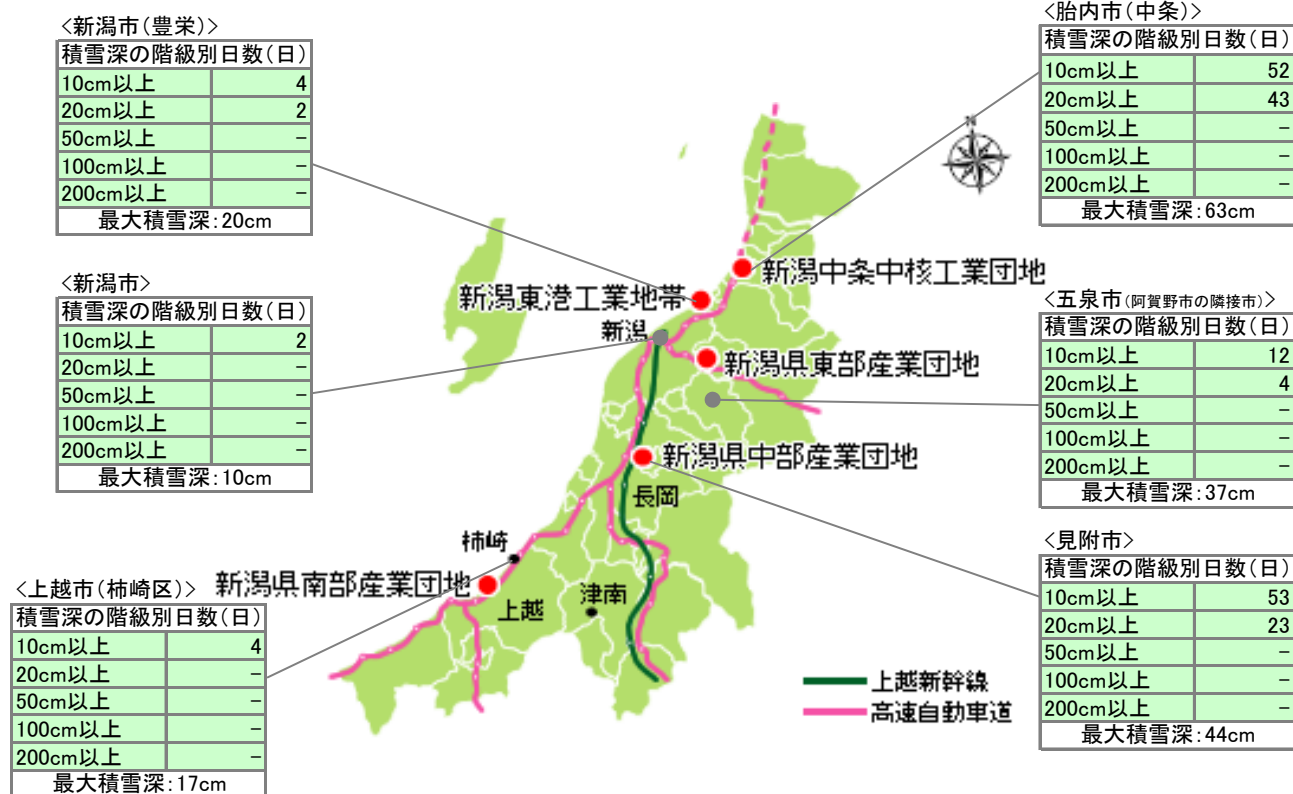
札幌 (新千歳)	日2便 (75分)
名古屋 (中部国際)	日2便 (55分)
名古屋 (小牧)	日2便 (50分)
大阪 (伊丹)	日9便 (60分)
福岡	日1便 (95分)
沖縄 (那覇) (10~5月)	日1便 (145分)
佐渡 (月~金曜日運行)	日2便 (25分)
ハバロフスク [ロシア]	週2便 (130分)
ウラジオストク [ロシア]	週2便 (80分)
イルクーツク [ロシア]	運休中
ソウル [韓国]	週7便 (120分)
上海 [中国]	週2便 (155分)
ハルビン [中国]	週4便 (130分)
グアム [アメリカ]	週2便 (220分)

新潟空港へのアクセス及び利用人数 (平成19年度)



雪の状況

- 新潟県は「雪国」のイメージが強いですが、実際には地域により状況は大きく異なります。また、万全の除雪体制により、降雪時でも物流・通勤等に支障はありません！



豊富な労働力・勤勉な県民性

- 本県の労働力人口は129万人（全国14位）で、京都府とほぼ同等のマンパワーを有しています。また、再就職率が全国トップ、離職率が全国で最も低く、「誠実かつ勤勉な県民性」に対して、本県に進出された多くの企業の皆様から、高い評価をいただいております。

優遇制度

- 50億円を上限とする補助制度に加え、その他、企業様の多様なニーズにお応えできる優遇制度をご用意しています。詳しくは県産業立地課へお問い合わせください。
- ※ 立地市町村によっては、独自の補助金制度、優遇税制があります。

お問い合わせ先

■ 企業立地に関する情報はこちら

『にいがた企業立地ガイド』

<http://www.pref.niigata.lg.jp/sangyoritchi/>

- 新潟県産業労働観光部産業立地課
〒950-8570
新潟県新潟市中央区新光町4番地1 新潟県庁11階
Tel : 025(280)5248
Fax : 025(280)5508
E-mail : ngt050080@pref.niigata.lg.jp
- 新潟県東京事務所（誘致グループ）
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15階
Tel : 03(5212)8997
Fax : 03(5210)9090
E-mail : ngt001010@pref.niigata.lg.jp
- 新潟県大阪事務所
〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1丁目3-1-800 大阪駅前第1ビル8階
Tel : 06(6348)9405
Fax : 06(6348)9407
E-mail : ngt051110@pref.niigata.lg.jp

■ 健康ビジネス全般についてはこちら

『健康ビジネス連峰』

<http://www.kenko-biz.jp/>

- 新潟県産業労働観光部産業振興課
〒950-8570
新潟県新潟市中央区新光町4番地1 新潟県庁11階
Tel : 025(280)5718
Fax : 025(280)5508
E-mail : ngt050030@pref.niigata.lg.jp